

業務融合化攻撃に反撃を!

9/15 イノベーターズスタッフ についてJR本社団交

◆イノベーターズスタッフの目的について

- **イノベーターズスタッフ新設の理由・目的は何か？**
→ 現業機関と企画部門の融合に向け、**現業機関で企画業務**を行う。それを**各箇所で推進**してもらう。乗客に近い場所で新しい価値創造、課題解決を、一般社員の中心として管理者を補佐し、様々な担務を取りまとめ、業務遂行の中心的役割を担ってもらう。
- **「価値創造」とは？**
→ **今までになかったようなサービス**を提供し、新しい当社の魅力を乗客に伝える。**収益向上**につながればなお良い。例としては、「乗客の声を踏まえて駅で新しいイベントを」「モノを売る」など。
- **「課題解決」とは？**
→ これまでもサービス、安全、価値創造などで行っている。それを**箇所を超えて**行うことを期待している。
- **指定の判断基準は何か？**
→ 会社の指定行為として、任用の基準で指定して発令する。試験などはない。各箇所、数人のイメージだ。
- **指定解除はあるのか？**
→ ありうる。異動時やある程度期間が経った場合などだ。

◆指定された場合の業務内容について

- **勤務の取り扱いはどう変わるのか？**
→ **本社や支社、他箇所、グループ会社をまたいだ調整、連携が求められる。**役割が果たせる勤務体制にする。
- **乗務員であれば1ヶ月の交番勤務となる。基本は交番から外すのか？**
→ 基本はそうだ。現場第一線の業務に一定程度つくということはある。「乗務しながら取りまとめ」という、過重労働を目的にしていない。

動労総連合は9月15日、イノベーターズスタッフに関するJR東本社との団交を行いました。これは、「本社、支社、系統、グループ会社の壁を超えた融合・連携」―業務融合化に現場を動員してくるものです。

ジョブローテーション・統括センター化など「働く場所も仕事内容も会社の好きにできる」ことを狙う攻撃と一体です。労働者の権利や労働条件を破壊し、競争・選別に追い込み、つながりを断絶させるためのものです。業務融合化に職場から反対の声をあげよう。

○乗務員、駅員を指定すると要員減となるのでは？

- イノベーターズスタッフの業務は**非定型**で出回はない。あくまで役割だ。一般社員の一部を切り出すということではない。**数が減る、増えるという話にはならない。**